

2016年 3月期 中間決算説明会



株式会社エフピコ
2015年 11月10日



2007年4月
第一回「平成18年度容器包装3R推進 環境大臣賞」
製品部門 最優秀賞を受賞

http://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_approach/



2011年2月
(財)日本環境協会より
第一回「エコマークアワード2010」金賞を受賞

http://www.ecomark.jp/award/award_2010.html



2011年4月
環境大臣に対し環境先進企業として「エコ・ファーストの約束」を行い
「エコ・ファースト企業」として認定。2014年6月18日、約束を更新。

<http://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/index.html>



2015年3月
経済産業省「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選出

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/kigyo100sen/index.html>



攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

2015年5月
経済産業省・東京証券取引所「攻めのIT経営企業」に選定

<http://www.jpx.co.jp/news/0010/nlsgeu000000yxnw-att/nlsgeu000000yxr2.pdf>

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

=目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	経理財務本部長	池上 功	3
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	15
◆ <u>企業価値拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	27
◆ 添付資料			39

2016年3月期 第2四半期累計

経理財務本部長
池上 功

決算概要 (2016年3月期 第2四半期累計実績)

単位: 百万円	第2四半期累計実績							上期計画			通期計画		
	'15/3月期		'16/3月期					'16/3月期			'16/3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	進捗率	計画	構成比	進捗率
トレー	13,884	17.3	14,579	17.3	+694	105.0%	106.6%	14,140	16.8	103.1%	29,140	17.0	50.0%
弁当・惣菜	42,605	53.0	44,766	53.1	+2,160	105.1%	106.6%	45,160	53.8	99.1%	91,560	53.5	48.9%
小計	56,490	70.3	59,345	70.4	+2,855	105.1%	106.6%	59,300	70.6	100.1%	120,700	70.6	49.2%
その他製品	3,271	4.1	3,021	3.6	△250	92.4%		2,700	3.2	111.9%	5,800	3.4	52.1%
製品売上高	59,761	74.3	62,367	74.0	+2,605	104.4%		62,000	73.8	100.6%	126,500	74.0	49.3%
包装資材	16,078	20.0	17,811	21.1	+1,732	110.8%		17,440	20.8	102.1%	35,710	20.9	49.9%
その他商品	4,556	5.7	4,126	4.9	△430	90.6%		4,560	5.4	90.5%	8,790	5.1	46.9%
商品売上高	20,635	25.7	21,937	26.0	+1,302	106.3%		22,000	26.2	99.7%	44,500	26.0	49.3%
売上高	80,397	100.0	84,305	100.0	+3,907	104.9%		84,000	100.0	100.4%	171,000	100.0	49.3%
営業利益	4,023	5.0	6,021	7.1	+1,997	149.7%		5,900	7.0	102.1%	12,900	7.5	46.7%
経常利益	4,741	5.9	6,629	7.9	+1,888	139.8%		6,400	7.6	103.6%	13,500	7.9	49.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,991	3.7	4,460	5.3	+1,469	149.1%		4,050	4.8	110.1%	8,500	5.0	52.5%
償却前経常利益	9,879		11,263		+1,384	114.0%		11,200	100.6%		23,500		47.9%

中間期過去最高

■販売

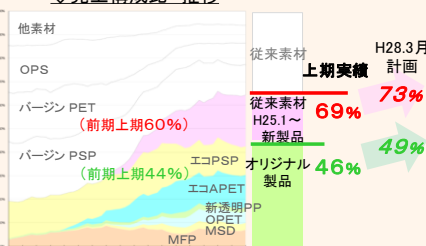
製品>

- ・オリジナル製品の売上構成比拡大による収益安定化
- ・売り場を上質化する新製品とレンジメニューマーケットの創出
- ・汎用製品は、量産効果と自動化により原価低減

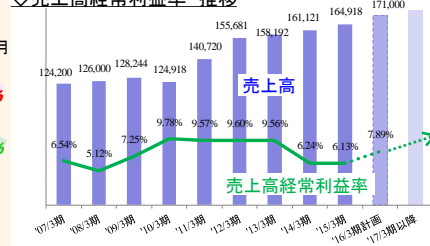
商品>

- ・PB商品の拡大強化
- ・M & Aによる販売拡大

◇売上構成比 推移



◇売上高経常利益率 推移



経常利益計画進捗状況 (2016年3月期 第2四半期累計実績)

単位: 億円

2015年3月期 101.1

上期 47.4

下期 53.6

計画比

原材料 +16

-1.0

・ナフサ連動 -3.0

販売活動 +5.5

+1.5

・オリジナル製品、MIX改善、
汎用製品の数量伸長 +8.5

生産改善 +5

物流改善 ±0

グループ会社 +3

+2.0

・改善 +4.5
・償却 +3.5

・物流費

経費増加 -9.2

-0.5

・販売費

・人件費

・租税公課 他

補助金 -1.4

+0.3

前年同期比

	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期計画	通期計画
製品数量	108.4%	104.9%	106.6%	106.0%	106.0%
製品売上	107.3%	101.7%	104.4%	103.2%	103.5%
商品売上	106.2%	106.4%	106.3%	102.1%	104.3%
売上高	107.0%	102.9%	104.9%	102.9%	103.7%
営業利益	155.1%	146.5%	149.7%	135.5%	140.4%
経常利益	152.7%	133.5%	139.8%	132.3%	133.6%
四半期利益	114.5%	107.8%	149.1%	133.3%	140.8%

上期実績 66.3

計画比 +2.3
前期比 +18.9億 139.8%

計 +2.3

下期計画 71

前期比 +17.4億 132.4%

2016年3月期計画 135

前期比 +33.9億 133.6%

FP Corporation 5

経常利益計画見通し (2016年3月期 計画)

単位: 億円

2015年3月期 101.1

上期

下期

上期 47.4

下期 53.6

原材料 +27.0

+16

+11

販売活動 +7.5

+5.5

+2

生産改善 +12.0

・ナフサ連動 -9.0

-3,-6

・オリジナル製品、MIX改善、
汎用製品の数量伸長 +16.5

+8.5,+8

オリジナル製品: MFP,MSD,エコ,OPET,新透明PP

改善効果 +6.5

償却費の減少 +11.5

+5

+7

±0

+2

+3

+1

物流改善 +2.0

グループ会社 +4.0

経費増加 -14.3

-9.2

-5.1

補助金 -1.9

-1.4

-0.5

上期実績 66.3

計画比 +2.3
前期比 +18.9億 139.8%

下期 71

前期比 +17.4億 132.4%

原材料値下り見込

2016年3月期 135

前期比 +33.9億 133.6%

FP Corporation 6

設備投資・研究開発費 (2016年3月期 第2四半期累計実績)

	第2四半期累計 実績				上期 計画		通期 計画	
	'15/3月期 実績	'16/3月期 実績		前年比	'16/3月期 計画	進捗率	'16/3月期 計画	進捗率
単位: 百万円								
有形固定資産	15,055	13,527	△1,528	89.8%	19,400	69.7%	22,700	59.6%
無形固定資産	129	207	+77	159.9%	200	103.6%	300	69.1%
設備投資	15,185	13,734	△1,450	90.4%	19,600	70.1%	23,000	59.7%
土地追加取得時							+2,800	
減価償却費	5,137	4,633	△503	90.2%	4,800	96.5%	10,000	46.3%
研究開発費	549	594	+45	108.2%	595	100.0%	1,190	50.0%

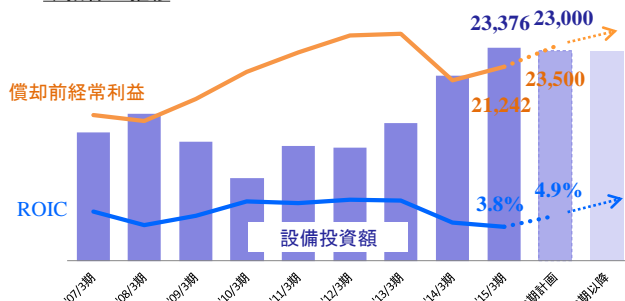
【主な設備投資】

単位: 百万円 投資総額 上期実績 通期計画

◆ 中部新工場	2016年 3月 稼働予定	14,058	3,361	3,650
OPET製造設備、エコAPET一貫製造設備の増設 うち土地(458)				
◆ 生産設備の増強	オリジナル製品(透明PP、MSD等)	516	2,850	
	APET	915	1,385	
◆ 物流施設の整備				
八王子 新物流拠点	配送センター 2014年 11月 稼働	14,540		
	ピッキングセンター 2015年 2月 稼働			
	二期工事 2015年 9月 完了	2,653	2,718	
◆ 金型		855	2,340	
◆ IT投資		237	440	

⇒ 業界での圧倒的な優位性
高付加価値製品と物流インフラによる収益改善

◇指標の推移



※'09/3よりリース債務オンバランス

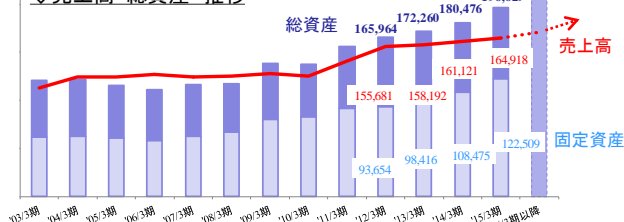
貸借対照表 (2016年3月期 第2四半期累計実績)

	前連結会計年度		当第2四半期連結会計期間		
	'15/3月期 '15/3/31	'15/9/30	増減	前年比	主な増減内訳
単位: 百万円					
流動資産	74,120	74,685	+564	100.8%	受取手形及び売掛金 +3,883 商品及び製品 △1,093
固定資産	122,509	130,751	+8,242	106.7%	有形固定資産 +6,796
資産合計	196,629	205,436	+8,806	104.5%	
流動負債	64,214	68,544	+4,329	106.7%	買掛金 △2,188 短期借入金 +2,337
固定負債	47,282	48,392	+1,110	102.3%	長期借入金 +2,090
負債合計	111,496	116,937	+5,440	104.9%	
純資産合計	85,133	88,499	+3,366	104.0%	利益剰余金 +3,383
負債純資産合計	196,629	205,436	+8,806	104.5%	

自己資本比率 42.9% (前年同期 41.8%)

- 資産 生産、物流を中心とした戦略投資により有形固定資産が増加
- 負債 戦略投資の原資として借入金が増加
- 純資産 経営体質の充実強化
事業拡大に向けた機動的な対応への備え

◇売上高・総資産 推移



キャッシュ・フロー (2016年3月期 第2四半期累計実績)

単位: 百万円	第2四半期累計 実績		
	'15/3月期 実績	実績	'16/3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	4,684	6,650	税金等調整前当期純利益 +6,577 減価償却費 +4,633 法人税等の支払 Δ 1,575
投資活動によるC/F	Δ 5,661	Δ 8,750	有形固定資産の取得 Δ 8,605
フリーキャッシュフロー	Δ 976	Δ 2,099	
財務活動によるC/F	1,079	1,189	借入金の増減 +4,428 配当金の支払額 Δ 1,078 リース債務の返済 Δ 2,159
現金及び現金同等物の増減額	103	Δ 910	
現金及び現金同等物の期末残高	16,256	12,800	

- 営業CF 堅調な利益確保により増加
- 投資CF 将来の利益獲得に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 戦略投資の原資として借入金が増加

	上期	下期	通期
配当予想額	33円	32円	65円

(30円から増配)

2016年3月期 計画

＝ご参考＝

決算計画概要 (2016年3月期 計画)

2015年5月10日 説明会

単位:百万円	通期実績		通期計画				上期計画			
	2015年3月期		2016年3月期				2016年3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	28,365	17.2	29,140	17.0	+774	102.7%	14,140	16.8	+255	101.8%
弁当・惣菜	86,732	52.6	91,560	53.5	+4,827	105.6%	45,160	53.8	+2,554	108.0%
小計	115,097	69.8	120,700	70.6	+5,602	104.9%	59,300	70.6	+2,809	105.0%
その他製品	7,139	4.3	5,800	3.4	△1,339	81.2%	2,700	3.2	△571	82.5%
製品売上高	122,237	74.1	126,500	74.0	+4,262	103.5%	62,000	73.8	+2,238	103.7%
包装資材	33,894	20.6	35,710	20.9	+1,815	105.4%	17,440	20.8	+1,361	108.5%
その他商品	8,786	5.3	8,790	5.1	+3	100.0%	4,560	5.4	+3	100.1%
商品売上高	42,681	25.9	44,500	26.0	+1,818	104.3%	22,000	26.2	+1,364	106.6%
売上高	164,918	100.0	171,000	100.0	+6,081	103.7%	84,000	100.0	+3,602	104.5%
営業利益	9,189	5.6	12,900	7.5	+3,710	140.4%	5,900	7.0	+1,876	146.6%
経常利益	10,106	6.1	13,500	7.9	+3,393	133.6%	6,400	7.6	+1,658	135.0%
当期純利益	6,329	3.8	8,500	5.0	+2,170	134.3%	4,050	4.8	+1,058	135.4%
償却前経常利益	21,242		23,500		+2,257	110.6%	11,200		+1,320	113.4%

■ 販売

製品 > 当社オリジナル製品及び新製品の売上構成比を高め、収益の安定化汎用製品の販売数量拡大

出荷枚数 : 前年比106%の伸長

トレー容器 : リサイクル原料製品を中心に販売拡大

弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱等の機能を備えたオリジナル製品を中心に、新機能容器・新デザイン容器の売上増加

商品 > 全国をフルカバーする物流ネットワークを最大限に生かし、包装資材の取扱量を拡大

◇ 生産

中部新工場の稼働により、PETリサイクル原料から製品成型までの一貫生産、OPET製品の生産能力増強

◇ 物流

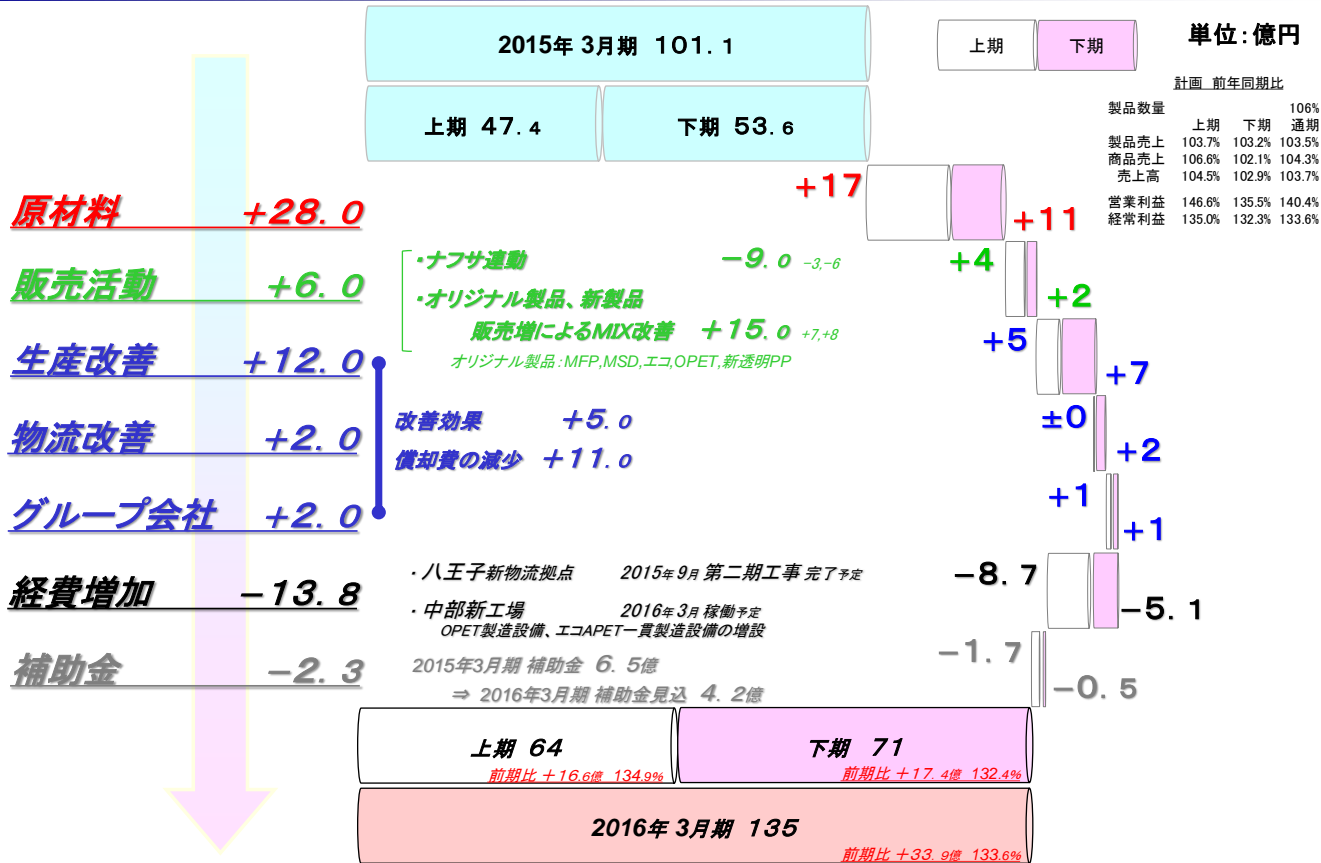
全国を網羅する物流ネットワークの整備を継続
八王子配送センターの二期工事完了により、更なるサービスレベル向上へ

◇ 環境

地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

経常利益計画増減 (2016年3月期 計画)

2015年5月10日 説明会



FP Corporation 13

設備投資・研究開発費計画 (2016年3月期 計画)

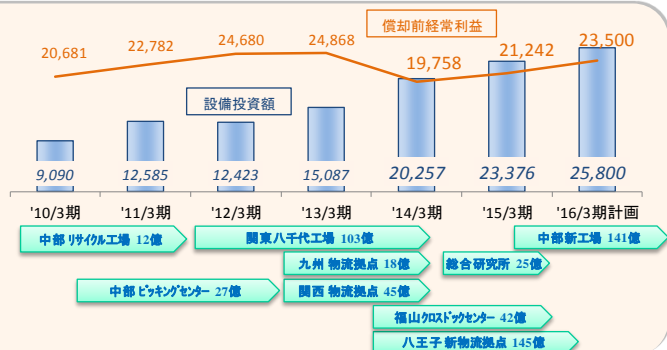
2015年5月10日 説明会

単位: 百万円	通期実績	通期計画			上期計画		
	2015年3月期	2016年3月期			2016年3月期		
	実績	計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	23,051	25,500	+2,448	110.6%	19,400	+4,344	128.9%
無形固定資産	325	300	△25	92.3%	200	+70	154.3%
設備投資	23,376	25,800	+2,423	110.4%	19,600	+4,414	129.1%
減価償却費	11,135	10,000	△1,135	89.8%	4,800	△337	93.4%
研究開発費	1,105	1,190	+84	107.7%	595	+45	108.2%

【主な設備投資】

単位: 百万円 投資総額 2016年3月期 計画

◆ 中部新工場	2016年 3月 稼働予定	14,058
◆ OPET製造設備、エコAPET一貫製造設備の増設	うち土地 (458)	3,650
◆ 生産設備の増強	オリジナル製品 (透明PP、MSD等)	2,850
	APET	1,385
◆ 物流施設の整備		
八王子 新物流拠点	配送センター 2014年 11月 稼働	14,540
	ピッキングセンター 2015年 2月 稼働	
	二期工事 2015年 9月 完了予定	2,906
◆ 金型		2,340
◆ IT投資		440



FP Corporation 14

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

事業概況と今後の見通し

» 製品戦略

> オリジナル製品によるマーケット創出

- ◇ マルチFP(MFP)容器、マルチソリッド(MSD)容器
- ◇ OPET(二軸延伸PET)透明容器
- ◇ 新透明PP容器

> 売場を上質化する新製品

- ◇ 折箱調容器
- ◇ 精肉専用容器

> エコ製品

- ◇ 「エコトレー」
- ◇ 「エコAPET」

» 戦略投資

> 物流コスト上昇抑制と安定供給

- ☆ 八王子配送センター 新物流拠点 2014年11月 配送C 2015年2月ピッキングC稼働 2015年9月 第二期工事完了
- ☆ 非常用発電設備 全国物流拠点へ導入

> オリジナル製品の生産能力増強

- ☆ 中部新工場 2016年3月稼働予定
- ☆ エコAPET一貫生産 ☆ OPETシート押出3、4号機 + OPET成型機4ライン

> 地上資源循環

- ☆ 新 関東PETリサイクル工場

» 人材確保と育成

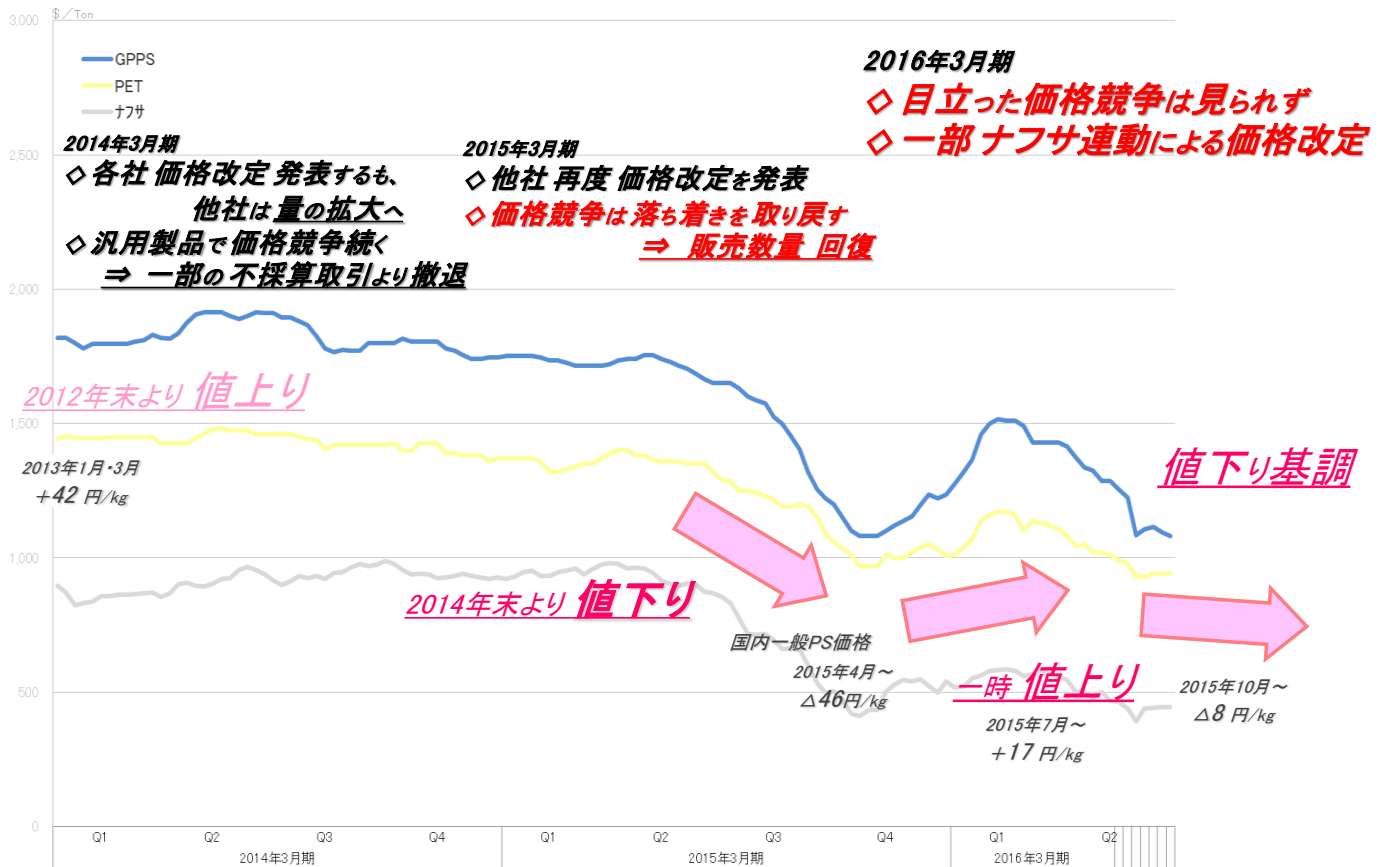
- ☆ 自動化 生産・物流ラインの省人化
- ☆ ワンルームタイプの社宅 関東・中部・福山に建設予定



目標とする 経営指標

1株当たり純利益 **250円**
配当性向 **30%**

原材料動向



製品戦略 顧客ニーズに対応した製品開発

オリジナル製品 > 売上構成比を高め収益改善と安定を図る

マルチFP(MFP) チルドからレンジアップまでカバーする発泡PS容器
マルチソリッド(MSD) MFPの端材を活用した非発泡PS容器

上期売上高

63億円
(前期比124.7%)

OPET(二軸延伸PET) OPSの問題点を克服したPET透明容器
 OPSからの切替(透明蓋・フードパック)
 中部新工場 2016年3月稼働予定

32億円
(前期比135.7%)

新透明PP レンジアップ対応透明容器
 消費者向け個包装『レンジバック蒸せるんです』
 二軸延伸への挑戦

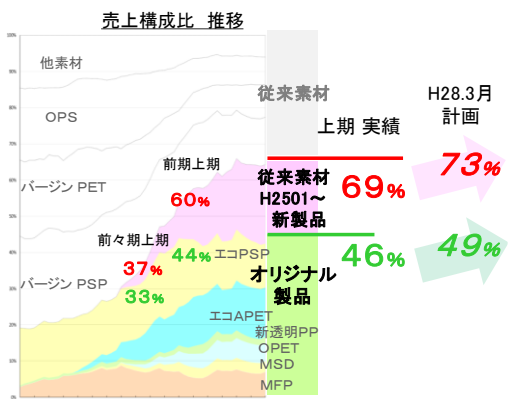
11億円
(前期比110.1%)

エコトレー リサイクルPSP容器 **CO2排出 -35%(バーजन比)**

80億円
(前期比 94.0%)

エコAPET リサイクルPET透明容器
 中部新工場 2016年3月稼働予定 **CO2排出 -33%(バーजन比)**

88億円
(前期比111.7%)



高付加価値・機能製品 > 売場を差別化し販売単価を上げる



汎用製品 > ロボット化と物流インフラによる原価低減

嵌合タイプPET容器への切替 ⇒ 小売の人手不足に対応



◆**深型耐熱容器**



耐熱容器

◆**レンジ鍋**

～全国スーパーマーケットで続々採用



マーケット拡大

◆**CVSチルドコーナー**

MFPモダンBOX



◆**温惣菜・スープ**

MFP丸カップ

MFP角デリ



物流戦略 3兆円マーケットへの挑戦

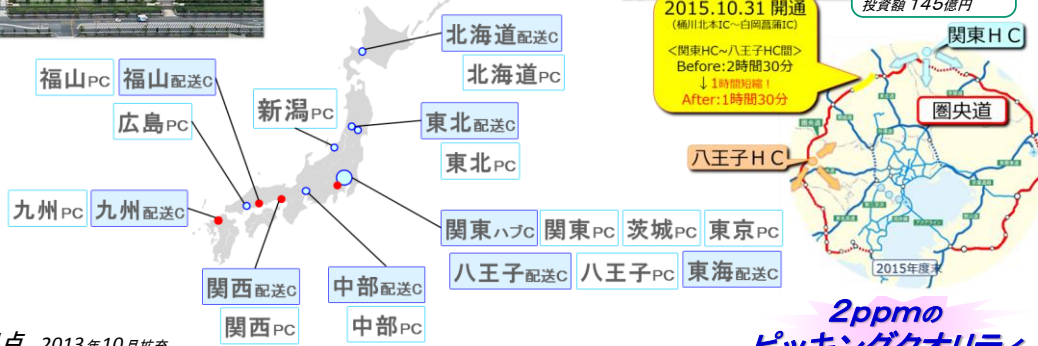
物流コスト上昇の抑制と安定供給

福山クロスストックセンター 2014年8月稼働



八王子配送センター

2014年11月 配送C稼働
2015年2月ピッキングC稼働
2015年9月 第二期工事了



九州物流拠点 2013年7月拡充



関西物流拠点 2013年10月拡充



	2012年	2015年度末	
配送センター	124千坪	149千坪 (120%)	9拠点
PC:ピッキングセンター	31千坪	40千坪 (129%)	12拠点



COP21へ向けて

環境と障がい者雇用が一体化した事業

障がい者雇用率数: **641.5** 2015年3月時点

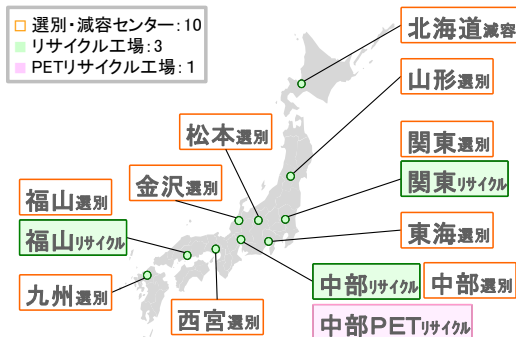
(雇用実人数369名+43名)

- ・ 特例子会社
 - ・ 就労継続支援A型事業所
- 障がい者雇用率 **14.98%**

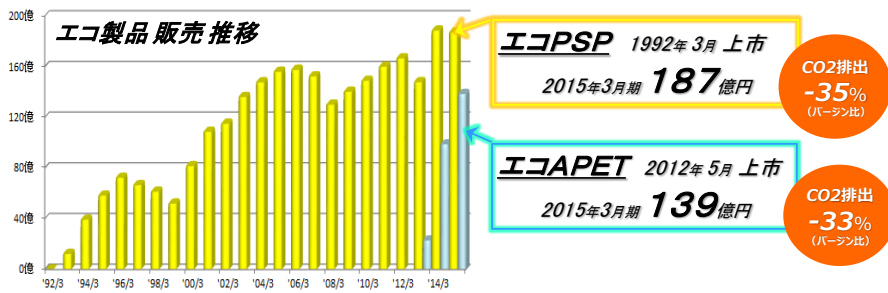
2015年3月
経済産業省「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選出



東洋経済オンライン「障がい者雇用率ランキング」
2013年度 ダントツ1位



新 関東PETリサイクル工場 計画中



戦略投資

☆ 物流

- ・ 八王子配送センター
(新物流拠点) 2014年11月 配送C稼働
2015年2月 ビックキングC稼働
2015年9月 第二期工事完了
- ・ 非常用発電設備 導入 2015年度 7拠点
2016年度 9拠点



☆ 生産

- ・ MSD生産ライン 増強
- ・ 新透明PP生産ライン 増強
- ・ APET生産ライン 増強
- ・ 中部新工場 2016年3月稼働予定
エコAPET製品 一貫生産
OPETシート押出3、4号機 + OPET成型機4ライン
- ・ 新 関東PETリサイクル工場



☆ 人材確保

- ・ ワンルームタイプの社宅 関東・中部・福山に建設予定

2016年3月期 設備投資計画 **230**億円

2017年3月期 ⇒ 同水準の戦略投資を継続

回収⇒リサイクル⇒エコ製品まで 一貫生産



★エコAPET製品 一貫生産
★OPET シート押出3、4号機 + OPET成型機4ライン



2016年3月の稼働に向けて建設中

人材確保と育成

集める

- 『ワンルームタイプの社宅』 関東・中部・福山に建設予定
茨城・筑西市 2016年12月 完成予定
岐阜・輪之内町 2017年春 完成予定

育てる

- 『総合研究所・人材開発研修センター』
2014年12月 竣工

エフピコ総合研究所



地上4階建
延床面積2,000坪
投資額25億円

自動化

- ロボット化の推進
 - 生産ラインの効率化
 - 主要物流拠点への自動仕分機(ソーター)導入
 - 音声ピッキング MH(人時)▲19%



設置拠点: 関東ハブC、八王子HC、福山XDC

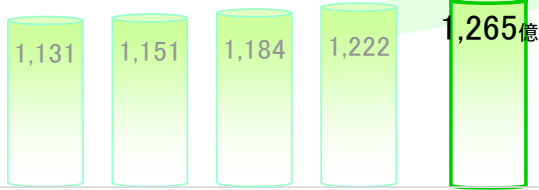
一人当たり生産性の向上へ

中期目標

経常利益率 12%

5千億円マーケットでのシェア拡大

製品



- ☆ 世界初のシート・素材
- ☆ 新マーケット創造
- ☆ 持続的 新製品投入
- ☆ M & A

◇ グローバルマーケット

製品
2,000億

2.5兆円マーケットへの挑戦

商品



- ☆ エフピコPB商品 拡大
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送
- ☆ M & A

=収益性の重視=
★生産性向上・省人化
★不採算取引の見直し

経常利益率 6%

商品
1,000億

売上高 1,557 1,582 1,611 1,649 1,710億

経常利益 149.5 151.2 100.5 101.1 135億

設備投資 124 151 203 234 230億

償却前
経常利益 246.8 248.7 197.5 212.4 235億

'12/3期 '13/3期 '14/3期 '15/3期 '16/3期計画

200億

3,000億

300億

<戦略投資>

中期目標

目標とする 経営指標

1株当たり純利益 250円

配当性向 30%

企業価値拡大に向けて

代表取締役社長
佐藤 守正

27

マーケットの状況

小売り業界を取り巻く状況

- ◆業界
 - ・物流費の高騰
 - ・円安による仕入れ単価上昇
 - ・オーバーストアによる競争激化
 - ・人件費UP 人手不足
- ◆社会
 - ・人口減の一方、世帯数は増加
 - ・高齢化世帯の増加

コンビニエンスストア

チルドコーナーの拡大
P B商品の拡大
旺盛な出店

スーパーマーケット

上質化
惣菜強化
都市部小型店の増加

優劣の拡大
グループ化

エフピコ

新製品開発

新技術
新素材

物流ネットワーク

リサイクル

営業 ① 売り場最前線 ~市場に対応したエピコ独自の製品ラインナップ

汎用トレー+ラップ



売価に合う見栄えに

高付加価値

汎用トレー+ラップ



作業性改善

嵌合フードパック

従来の弁当



こだわりの商品作り

上質化



FP corporation

29

営業 ② 市場を創り出す開発力・提案力

他社にない売り方

新マーケットの創出

MFPドリスカップ

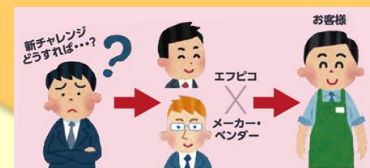
深型で魅せる耐熱容器



加熱後持っても
安全安心

コ・クリエーション型営業

食材メーカー・アウトベンダーとの
協働でより実行性の高い提案へ



生を調理するから美味しい
フレッシュレンジDeli

「レンジ」でさらに安全安心



レンジ鍋



アルミ鍋

レンジパック
「蒸せるんです」



エピコ初の
"BtoC"製品

リサイクル製品

COOL CHOICE



エコトレー
CO2 35%削減効果*



エコAPET
CO2 33%削減効果*

*当社バージン製品比較

FP corporation

30

コ・クリエーション型営業

エピコ × メーカー・ベンダーで提案

クックパッド

日本最大の料理レシピサイト



容器の機能提案
売り場販促提案

<メーカー>
商品開発、味付け



スーパーマーケット様

<ベンダー>
供給面での仕組み作り



連動

スーパーマーケット様 売り場・商品



《惣菜の可能性を広げる》
フレッシュレンジ・デリ
||
家庭のレンジで完成させる
“生から惣菜”



FP corporation

物流 ① 6年間で340億円を投資（物流部門）

物流コスト上昇の抑制と安定供給



供給量増大
物流コスト上昇
への備え

スピード・精度向上へのシステム構築

ルートプランナー

RDチェックシステム

リアルタイムデリバリー・チェックシステム

S&S システム

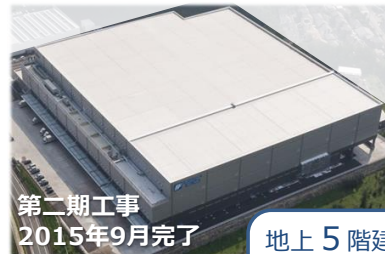
ソフト&スケジュール・システム

梱包サイズ最適化

音声ピッキング

FP corporation

- ・ 関東全域を東西よりカバー
- ・ トータルコスト 削減、借庫返却
- ・ リスク分散



第二期工事
2015年9月完了

地上 5 階建
延床面積 23,700坪
投資額 145億円

2015.10.31 開通

(桶川北本IC~白岡菟蔦IC)

<関東HC~八王子HC間>

Before:2時間30分

↓1時間短縮!

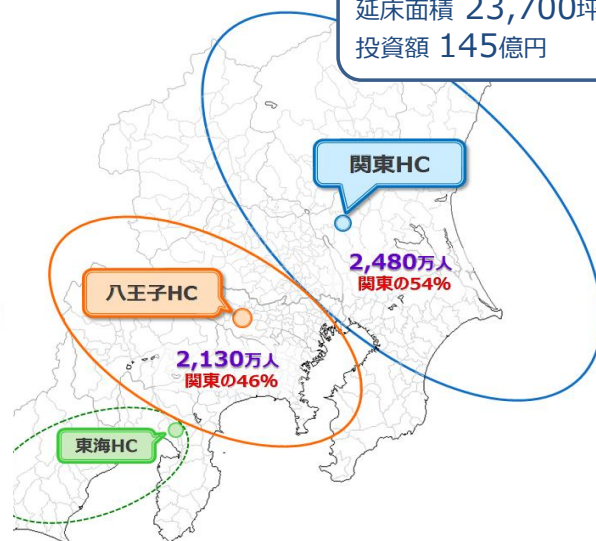
After:1時間30分

八王子HC

関東HC

圏央道

2015年度末



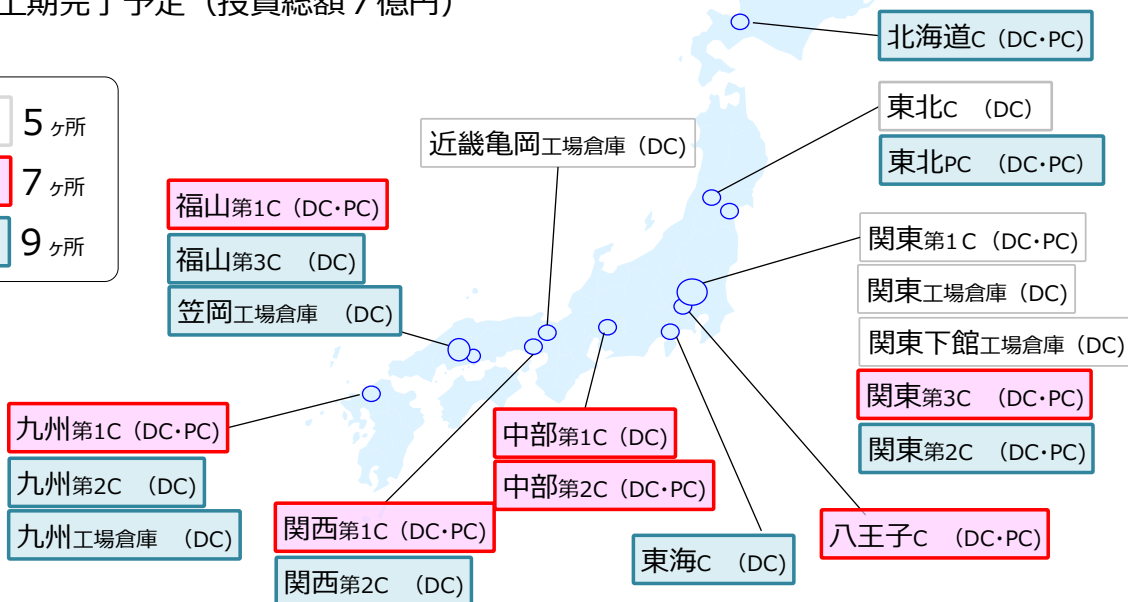
災害・設備故障等のリスクに備え

全国21物流拠点すべてに、非常用発電設備を設置

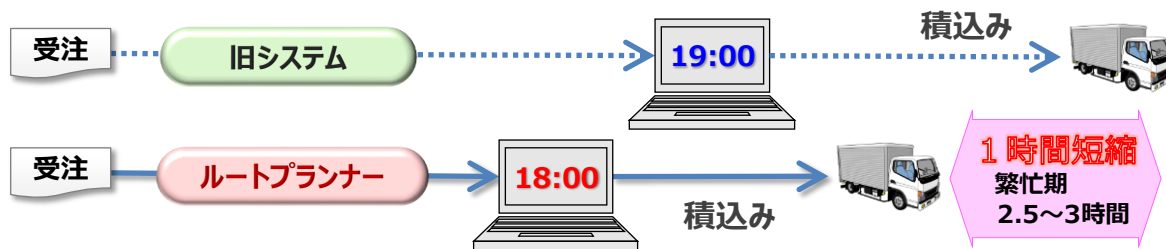
✓ **72時間** の電力供給を確保 お客様の事業活動継続に寄与

✓ 2016年度上期完了予定 (投資総額 7 億円)

既設	5ヶ所
2015年度新設	7ヶ所
2016年度新設	9ヶ所

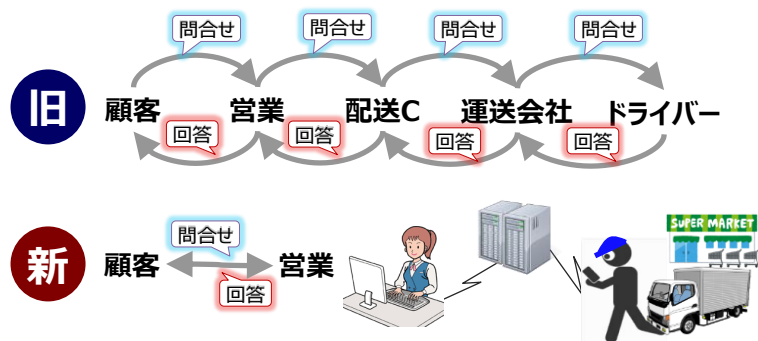


《1》配車計画システム (ルートプランナー)

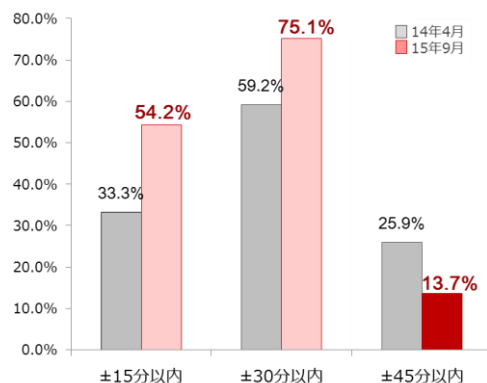


《2》配送状況確認システム (RDチェックシステム)

リアルタイムデリバリー・チェックシステム

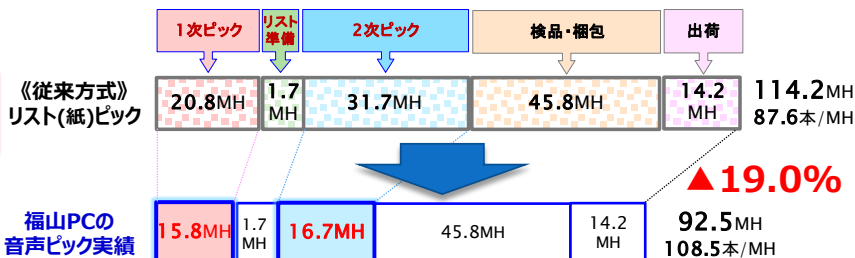


納品時間の予定実績差異



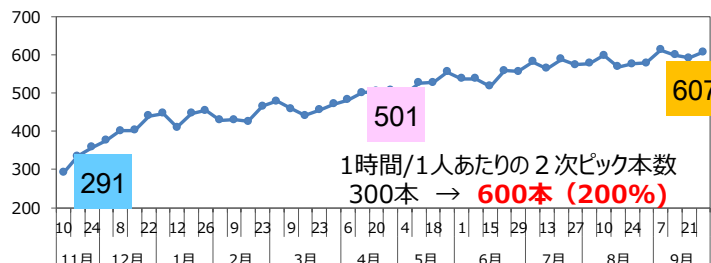
《3》音声ピッキング

■ 1万本のピッキングに必要なMH(人時) と人数の変化



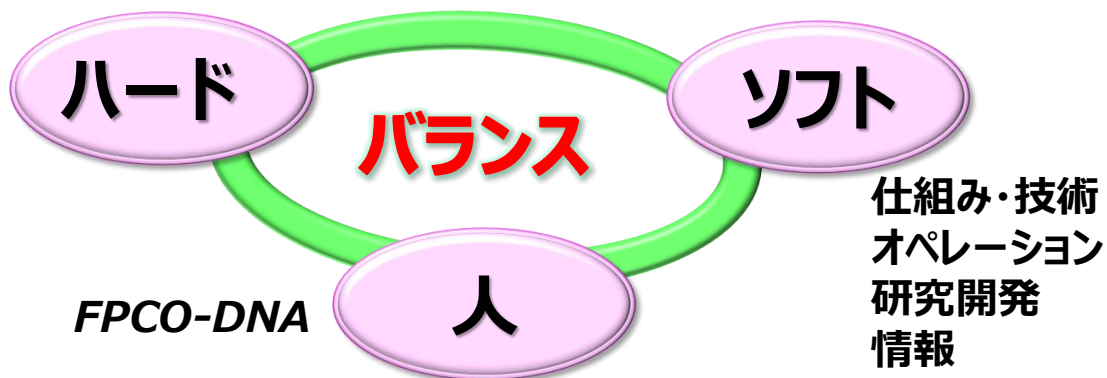
- ◇ 人手不足への対応
- ◇ 数量拡大に伴う経費増加の抑制

■ 音声ピッキング 2次ピッキング生産性推移



ピッキング工程トータルで効率化する手法を構築し、全国展開

一歩先を見通した戦略投資



「人」+「ハード」+「ソフト」のバランス

もっとも高品質な製品を
どこよりも競争力のある価格で
必要なときに確実にお届けする

IT・ESG への取り組み評価

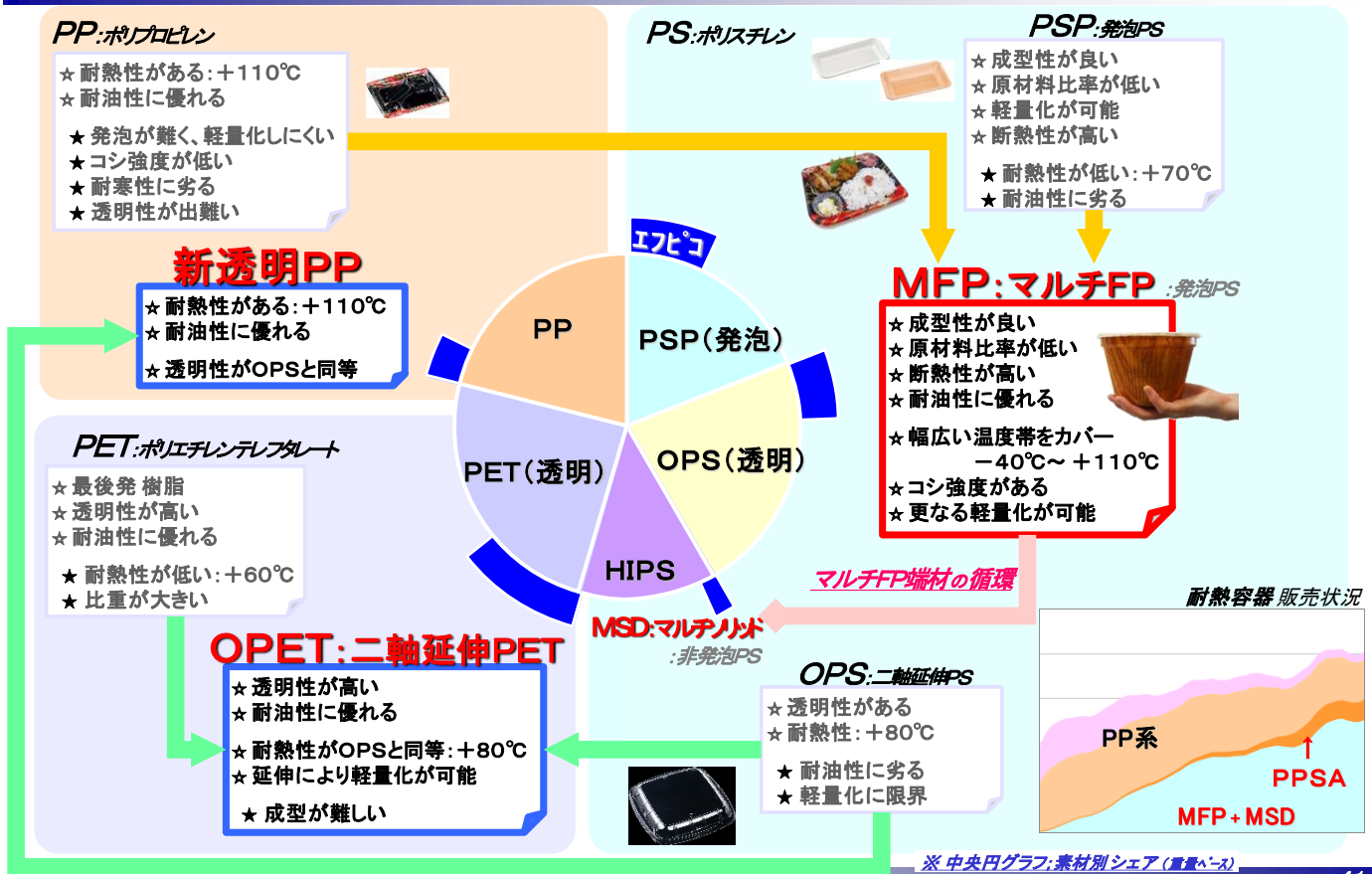
年	ロゴ	内容	主催	詳細
2015		攻めのIT経営銘柄 選定	経済産業省 東京証券 取引所	東京証券取引所の上場会社の中から、収益拡大や事業革新等のための積極的なIT投資・活用を実施する企業を選定するもの。 エフビコの配送計画システムやSCM(需要予測と生産のマッチング)システム等の取組が評価されました。
2015		ダイバーシティ経営 企業100選 選出	経済産業省	経済産業省がダイバーシティ人材を活かして新しい価値を創出している企業を表彰する制度。容器製造やリサイクルの現場において、障がいのある従業員が活躍し、それが企業全体の価値につながっている、というところが評価されました。
2014		Fun to Share キャンペーン参加	環境省	環境省が2014年にスタート。豊かな低炭素社会の実現をめざし、企業・団体・個人・地域が知識や知恵を共有するキャンペーンに参加しています。
2012		障害者雇用優良企業 ハートフルリボンマーク 認証取得	厚生労働省	厚生労働省が、障害者の雇用について、特に優れた取組と積極的な社会貢献を行う企業を認証する制度です。
2011		エコファースト企業 認定	環境省	業界における環境トップランナー企業であることを環境大臣が認定し、企業が地球温暖化対策・廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取組みを環境大臣に対し約束する制度です。認定を受けているのは40社のみです。(2015.3時点)
2010		第一回 エコマークアワード 金賞受賞	(財)日本環境協会 エコマーク事務局	「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体などの特に優れた取り組みを表彰するもの。エフビコ方式による『トレー-toトレー(R)』のリサイクルの取組が選ばれました。
2006		第1回「容器包装3R推進 環境大臣賞」 製品部門の最優秀賞	環境省	環境省が2006年に創設した表彰制度。第一回選考において最優秀賞受賞。エコレー(R)の生産において消費者との連携を進めながら経済性とリサイクルを両立させたことが、評価されたものです。

添付資料

用語解説

- PS : ポリスチレン PET : ポリエチレンテレフタレート PP : ポリプロピレン
- マルチFP(MFP)容器 : -40℃~+110℃の耐寒・耐熱性をそなえ、耐油・耐酸性及び断熱性に優れた発泡PS容器
- マルチソリッド(MSD)容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器。
耐熱温度+110℃
- OPET透明容器 : 二軸延伸PETシートから成型した、耐油・耐酸性に優れ、透明度も高く、OPSと同等の耐熱性を実現したPET透明容器 耐熱温度+80℃
- 新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃
- PPSAシリーズ : 嵌合フードパックタイプの新透明PP容器 耐熱温度+110℃
- OPS透明容器 : 従来からの二軸延伸PSシートから成型した透明容器 耐熱温度+80℃
- エコトレイ : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (平成4年販売開始)
- エコAPET : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とするリサイクルPET透明容器
(平成24年販売開始)
- フードパック : スーパーの揚げ物バイキングコーナーなどで使用される、蓋(フード)と本体が一体となった汎用透明容器
- クロスドックセンター : お客様にお届けする製品を、個別の配送トラックが在庫倉庫を廻って積込むミルクラン方式にかわり、全ての出荷製品を一カ所に集め、配送ルート毎に自動ソーターで仕分けの後、配達順に積込むクロスドック方式を実現するセンター
- 配送センター : 製品をケース単位で出荷
- ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷
- 選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材別に、それぞれ選別
- クックパッド : クックパッド株式会社の運営による料理レシピのコミュニティウェブサイト
- 「レンジパック蒸せるんです」 : 家庭で生の素材から電子レンジを使って簡単に蒸し料理が楽しめる、簡易蒸し容器PPSAが個包装されたセット商品。耐熱温度+110℃。

世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却



設備投資 推移

企業価値拡大に向けた投資を継続

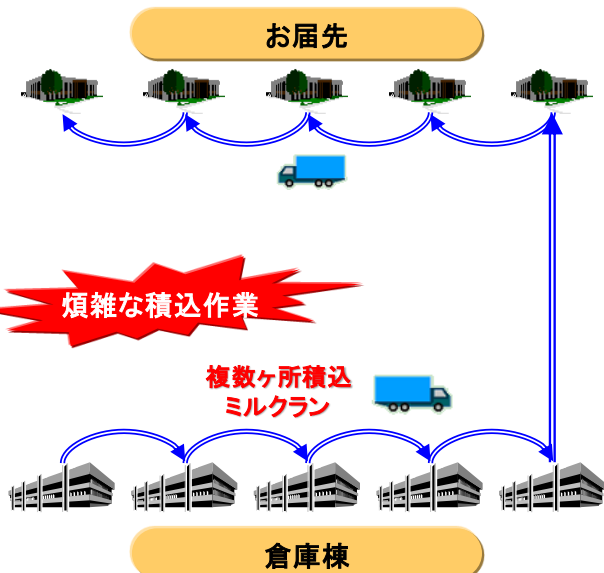
2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度

単位:億円	実績						計画	
	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	5期計	2016/3期	累計
製造	34	60	59	39	95	287	135	422
物流	25	17	50	114	93	299	42	341
金型	18	19	14	22	24	98	24	122
リサイクル	37	11	11	2	1	63	6	69
システム	3	5	4	6	4	22	4	26
グループ	8	12	12	20	16	69	18	87
計	126	124	151	203	234	837	230	1,068

出荷方法の違い

ミルクラン方式

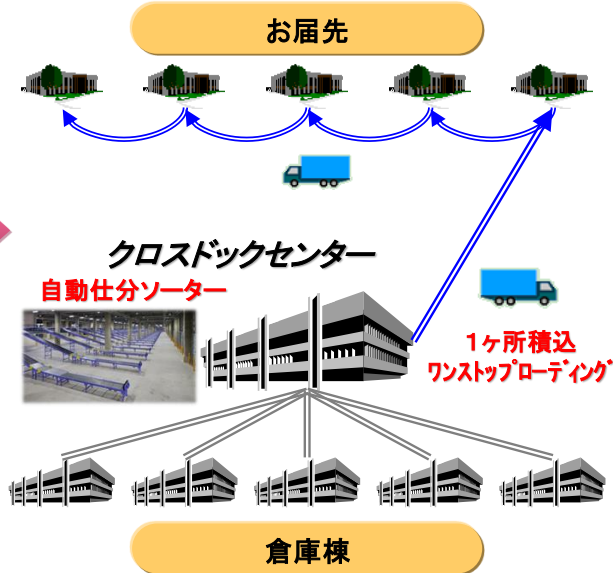
車輛別 出庫 : 出庫～積込に時間がかかる
 複数ヶ所 積込 : 仕分・積込ミスが発生



車輛別の出庫・引渡し

クロスドック方式

パッチ単位 出庫 : 出庫～積込の時間が短縮
 1ヶ所 積込 : 積込時間短縮・納品精度向上



約20車輛合計数の出庫

福山クロスドックセンター 2014年8月稼働

ミルクラン方式から クロスドック方式へ

- ☆ ドライバー拘束時間の削減: 1～1.5時間/台
- ☆ 借庫から自社物件へ集約
- ☆ 関東ハブセンター(2003年)に続くソーター導入



地上3階建
 延床面積 10,200坪
 投資額 42億円

クロスドックセンター
 (連棟合計: 82.5万ケース)



設置拠点: 関東ハブC、八王子HC、福山DXC

2015年1月 太陽光発電 稼働

約12,000㎡

CO2削減効果 約300t₂/年
 投資額 2.3億円

約6,000㎡

2015年9月 関西配送センター
 太陽光発電 稼働

CO2削減効果 約150t₂/年
 投資額 1.3億円

※エコ製品によるCO2削減効果: 約89,000t₂/年(2013年)

経常利益増減要因 推移

単位: 億円

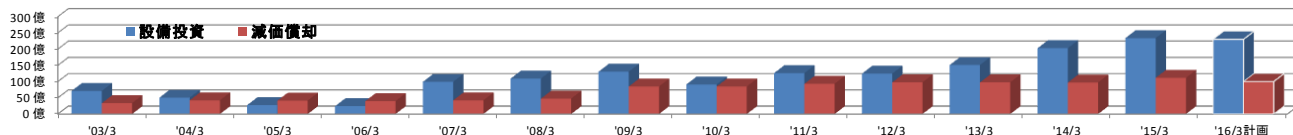
	'03/3			'04/3			'05/3			'06/3			'07/3			'08/3			09/3			10/3			11/3			12/3			13/3			14/3			15/3			16/3 計画		
	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期						
前期 経常利益	83.1	28.6	33.6	38.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	47.4	53.6	101.1												
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0	-25.0																															
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2	+4.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0	+25.0																																
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0																														
販売増・Mix改善	+45.0		+17.5	+5.8	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0	+11.0	+10.5	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	+9.0	+12.0	+11.0	+12.0	+21.0	+1.0	-	+1.0	-	+4.0	+4.0														
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+1.5	+2.5	+1.0	+1.0	-	+1.0	+0.5	+3.5	+4.0	+6.0	+7.0	+12.0											
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+0.5	+1.5	+1.0	-	+1.0	-	+1.0	-	-1.0	-1.0	-	+2.0	+2.0										
グループ会社利益改善																																										
美術品売却益			+1.0	-1.0			+4.0		+4.0	-4.0	-4.0																															
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-6.4	-15.3	-10.0	-7.0	-17.0	-11.6	-10.4	-22.0	-9.2	-5.1	-13.8												
増減計	-34.5	+5.0	+2.7	+30.2	+14.7	-16.7	+7.2	+21.2	+28.4	+20.9	+8.4	+29.3	+8.0	+4.5	+12.5	+0.9	+13.9	+14.8	+6.1	-4.4	+1.7	-24.0	-27.0	-51.0	-3.7	+4.2	+0.5	+18.9	+17.4	+34.0												
当期 経常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	39.2	59.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	47.4	53.6	101.1	66	71	195												

FP Corporation 45

設備投資 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	'16年3月期 計画
生産	山形工場				下館第二工場	中部第二工場	九州第二工場	北海道工場増設	関東八千代工場					エフピコ総合研究所 開発・研修棟
物流	東日本ハブC 九州HC 関西HC			北海道HC		関東八千代C	新北海道HC	新福山PC	新中部PC			九州物流拠点 関西物流拠点	福山カロッソC 八王子配送C	透明容器の強化 物流ネットワーク整備
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場						新リサイクルネットワーク構築 中部 PETメカニカルリサイクル PETリサイクル事業強化
その他					東海HC建物	本社事務所 関東新工場土地	福山地区土地・建物 中部地区土地・建物	ユカ商事 インターハック				九州物流拠点土地 関西物流拠点土地	八王子拠点土地	みやこひも

単位: 百万円	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3 計画
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,000
有形	6,138	4,248	2,821	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	22,700
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	300
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	2,340
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	10,000
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,190



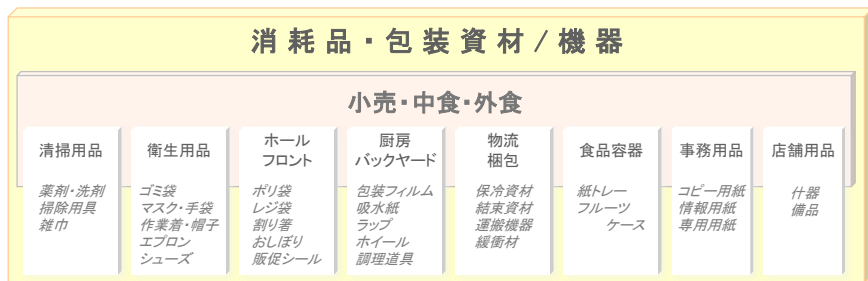
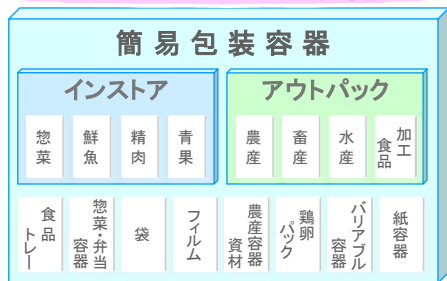
>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

FP Corporation 46

マーケットへの取組

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2.5兆円**



得意分野での優位性確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

エフピコ物流・アイロジック

エフピコグループカ

製品・素材力 提案力 調達力 物流力 **SCM** 環境経営 社会責任 インフラ

エフピコ商事

包装資材・消耗品 メーカー

【施設見学のご案内】 随時受付: 経営企画室 03-5325-7756

最新鋭の 生産 ~ 物流 ~ リサイクル をご覧いただけます。

関東

JR東日本 古河駅 ~ 30分
関東ハブ第2センター

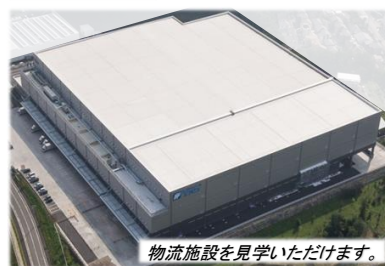


OPET生産設備



八王子

JR東日本 秋川駅 ~ 20分



福山

JR西日本 福山駅 ~ 30分



中部

JR東海 岐阜羽島駅 ~ 20分



PETマルチリサイクルプラント×2

2016年3月の稼働に向けて建設中